

国際大会及び海外合宿等への派遣規程

(趣旨)

第1条 本規程は、公益社団法人日本エアロビック連盟(以下「本連盟」又は「JAF」)が、各種国際大会及び海外での強化合宿等に選手、コーチ、審判員、役員、関係者等を派遣する事項について定める。

(派遣の権利)

第2条 本連盟は、国際大会派遣選考会議(以下「選考会議」)を置く。

2. 選考会議の長は、理事会で選任するものとし、同会議のメンバーは理事会、審判委員会、選手強化委員会及び外部有識者のうちから、最低2名以上の委員を選考会議長が選任する。
3. 選考会議は、本規程3条に定める国際大会への派遣の可否や選手強化対象部門(以下「強化部門」)、派遣する選手について定める派遣基準を策定し、当該派遣基準による選考を実施する。ただし、当該派遣基準については、理事会の承認を得るものとする。
4. 選考会議のメンバーの任期は、理事の改選期に合わせて2年とする。
5. 派遣先の安全性の確保が難しい場合や、経済的・人的資源の確保が困難な場合など社会的情勢により派遣できない場合がある。派遣の中止は、派遣会議が判断し理事会が承認する。

(派遣の範囲)

第3条 本規則の対象は、次の通りとする。

- (1) 国際体操連盟(以下「WG」)主催「エアロビック世界選手権大会」、「エアロビックジュニア世界選手権大会」、「エアロビック世界ユース競技会」
- (2) アジア体操連合(AGU)主催「アジア選手権大会」、国際ワールドゲームズ協会(IWGA)主催「ワールドゲームズ大会」
- (3) WG主催 World Cup Series および選考会議が承認した第4グループ(WG General Judges' Rules 国際大会区分に準拠)のWG国際大会(「全日本総合エアロビック選手権大会」前後3週間以内に開催される大会を除く)
- (4) その他、本連盟が承認した海外で開催される強化合宿、国際審判養成講習会、コーチアカデミー等

(公式派遣)

第4条 団長(副団長)をはじめ審判、帯同コーチを含む日本代表選手団を編成・派遣する公式派遣は、第3条(1)(2)の国際大会とする。

2. 公式派遣における団長(副団長)、審判、帯同コーチは派遣会議が任命する。

(選手団の派遣手続)

第5条 前条に定める国際大会において、第2条に従い派遣することが決定した団長(副団長)、審判、選手、帯同コーチに関する派遣のための事務手続きは、各大会の派遣要項に基づいて(公財)日本体操協会(以下「JGA」)と本連盟事務局が協力して行うものとする。

2. 派遣は、派遣スケジュールに準じて最短での渡航手配を原則とし、個人的な理由での滞在期間の延長は認めない。
3. 戦争やテロ、自然災害など不測の事態が発生し、既に支払い済みの費用等において回収不可能な場合は、派遣選手等の負担とする。

(審判員の派遣)

- 第6条 派遣審判員は、有効な JAF 認定審判員資格、WG 認定国際認定審判員資格を有していなければならない。
2. 派遣審判員は、帰国後ただちに当該大会についてのレポートを事務局に提出しなければならない。
 3. 第3条(3)の大会については、第1審判は派遣選手が選ぶ権利をもつ。(航空運賃は参加全選手間で負担する)派遣選手が2名以上おり、それぞれが別の審判員を希望する場合は、上位選手が希望する審判員を第1審判員とし、別の審判員は第2審判員となる。

(帯同コーチの派遣)

- 第7条 帯同コーチは、原則として有効な WG コーチ ID を有していなければならない。
2. 派遣数に制限がある場合は原則として各号に準じて帯同コーチを決定する。ただし、いずれの場合も登録クラブのコーチを優先する。
 - (1) 決勝進出の可能性が高くかつ上位入賞が望める選手の帯同コーチ
 - (2) 決勝進出の可能性が高い選手の帯同コーチ
 - (3) 派遣大会の多くの部門に^{※1}第1代表選手を輩出している帯同コーチ
 - (4) 派遣大会の多くの部門に代表選手を輩出している帯同コーチ
- ※1：「全日本総合エアロビック選手権大会 日本代表選考会」1位、ジュニア/ユースミックスペア部門とグループ部門は「JOC ジュニアオリンピックカップ」1位
3. 前号の基準に当てはまらない場合は、派遣選考会議において協議し、理事会の承認を得る。
 4. ジュニア/ユース選手の派遣は、場合により帯同保護者の派遣を行う。

(派遣選手の行動規範)

- 第8条 派遣選手は、次の規範に従って行動しなければならない。なお、帯同コーチ等関係者は、この指導に務めなければならない。
- (1) 派遣期間の行動は、当該選手団の団長の指示に従う。
 - (2) 競技規則を守り、スポーツマンシップに則って競技する。
 - (3) 常に日本の代表としての誇りを持ち、日本代表としての義務を遂行するとともに、日常の心身の管理に努める。
 - (4) 社会の一員として責任ある態度と行動をとる。暴力行為、セクシャルハラスメントおよび個人的な差別など、人権尊重の精神に反する行動をとらない。
 - (5) アンチ・ドーピングに関して正しい知識を持ち、ドーピングを行わない。
 - (6) 大麻等禁止薬物を使用しない。
 - (7) 違法賭博を行わない。
 - (8) 反社会的勢力と関わらない。
 - (9) 主催者、支援者に対し常に敬意をもって接する。
 - (10) 派遣に関する SNS 等を利用した発信は、日本代表選手として節度をもって行う。
 - (11) 各大会の開催要項を遵守する。

(派遣の費用)

- 第9条 派遣選手、帯同コーチ、審判員等の費用は、原則として個人負担とする。ただし、公式派遣となる第3条(1)(2)の大会においては、団長(副団長)と第1審判の航空運賃、宿泊費等は本連盟が負担する。
2. 公式派遣において、強化部門以外の選手団のみを派遣する場合、主催者が要請する審判等の派遣費用は原則、出場選手が負担する。

(海外旅行傷害保険の加入)

第10条 団長(副団長)、審判員、派遣選手、帯同コーチ、帯同保護者等は、自己の責任において派遣期間全てを保証する疾病・傷害・賠償責任を補填する海外旅行傷害保険に加入しなければならない。派遣期間中のいかなる疾病・傷害・ケガ・事故・盗難等について、本連盟は一切責任を負わないものとする。

(その他)

第11条 本規程にない案件が発生した場合は、選考会議が判断し、理事会に報告する。

(付則)

第12条 本規則は、平成15年1月1日から施行する。

2. 平成17年4月1日改訂
3. 平成21年4月1日改訂
4. 平成22年9月1日改訂
5. 平成24年7月20日改訂
6. 平成25年4月1日改訂
7. 平成27年1月1日改訂
8. 平成29年4月1日改訂
9. 平成30年4月1日改訂
10. 平成31年4月1日改訂
11. 令和5年4月1日改訂
12. 令和5年6月1日改訂
13. 令和6年4月1日改訂
14. 令和7年3月7日改訂
15. 令和7年6月20日改訂
16. 令和8年5月1日改訂